

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-180	高等学校	外国語	英語コミュニケーション I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	CI 002-901	All Aboard! English Communication I Revised		

1. 編修の基本方針

国際社会を生き抜く日本人を育成するために、以下のことに留意しています。

- ① 中学校までに学んだ英語に十分習熟していない生徒を主な対象としているので、基礎・基本からの導入について格別な配慮をすること
- ② 生徒の学習意欲を喚起し、「読みたい」「考えたい」「伝えたい」と思う題材を取り上げること
- ③ コミュニケーションを図る資質・能力を育成するために、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能（5領域）の活動をバランスよく取り上げ、統合的に扱えるようにすること
- ④ 文法・読解にかたよらず、日常的・実践的なコミュニケーションの指導や言語活動が行えるように、無理のない手順や配列を工夫すること

基本方針

1

学習負担の少ない構成

- ・ 英語学習の基礎・基本の導入と学習への動機づけを図るため、本課Lessonの前にWarm-Up 1～3とPre-Lesson 1～2を配置しています。Pre-Lessonでは、最初につまづきやすいbe動詞と一般動詞について復習をしながら定着を図ります。
- ・ 各Lessonで学習する文法事項を1つに絞っています。該当の文法事項を様々な形式で繰り返し学習できるようにしています。
- ・ ほとんどのLessonにおいて本文は見開きで完結します。また、学習の流れがひと目で理解できるようにレイアウトを工夫しており、前時の復習がしやすくなっています。
- ・ 各Lesson末の言語活動では細かいステップを設定することにより、学習目標に到達しやすい配慮をしています。

基本方針

2

指導の流れが見えやすいLesson構成

- ・ 教師と生徒が学習目標を共有するために、Lessonのテーマについての言語活動に関連した学習目標、および文法事項の機能を重視した目標を扉ページに提示しています。
- ・ 本文の各パートに内容理解の活動を手厚く配しています。
- ・ Lessonの本文に続くページを、「本文の復習 (Review)」「言語活動 (Activity)」「文法事項 (Grammar)」の3つのコーナーに分けて充実させることで、多様な指導スタイルに対応できる構成にしています。

基本方針

3

学習意欲を喚起する題材

- ・ 生徒が「読みたい」「考えたい」「伝えたい」と思うような題材を用意しています。
- ・ 各Lesson末に「Activity」を配置し、本文のテーマについての言語活動ができるようにしており、4技能（5領域）の統合を図ることができます。

2. 対照表

図書 の 構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所の例
Lesson / Reading	<ul style="list-style-type: none"> ① 各 Lesson で取り上げた題材を通して、異文化の発想や考え方を知り、視野を広げます。(第1号) ② Reading では生徒の心情に訴えるような題材を取り上げ、豊かな情操と道徳心を培うように配慮しています。(第1号) ③ 各 Lesson の Activity など自分の意見を述べる活動を豊富に設け、個人の価値を尊重し、豊かな自己表現の力を伸ばせるように配慮しています。(第2号) ④ 目標に向かって努力をしている高校生を取り上げ、勤労を重んじる態度を養います。(第2号) ⑤ ペアやグループで取り組む言語活動を豊富に用意し、協力し合う心を育みます。(第3号) ⑥ 愛馬とともに流鏑馬に打ち込み、人生において何を大事にすべきか考え決断してきた女性を取り上げ、主体的な生き方を考える態度を養います。(第3号) ⑦ 男性、女性をバランスよく取り上げ、男女どちらも社会に参画している姿を示しています。(第3号) ⑧ 重度の身体障がいをもつ人々が分身ロボットを使って働く姿を取り上げ、誰もが主体的に社会に参画できる社会について考える態度を養います。(第3号) ⑨ 野生動物や海洋生物とのかかわりを通じて、生命を尊び、自然を大切にすることを養います。(第4号) ⑩ 環境問題の解決を目指す自治体の活動を取り上げ、環境の保全を自分ごととして考える態度を養います。(第4号) ⑪ 我が国の伝統や文化について知り、それらを外国に向けて発信する力を養います。(第5号) ⑫ 第二次大戦下でナチス・ドイツに迫害を受けながらも希望を失わずに生きたアンネ・フランクを取り上げ、国際社会の平和について自分ごととして考える態度を養います。(第5号) ⑬ 戦後、沖縄の人々とハワイに住む日系アメリカ人の絆を深めた出来事を取り上げ、海外との交流活動を積極的に行う態度を養います。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> ① Lesson 1 など ② Reading 1、Reading 2 など ③ pp.50-51 など ④ Lesson 5 ⑤ p.49、pp.50-51、p.53 など ⑥ Lesson 3 ⑦ Lesson 3、Lesson 5、Lesson 8 など ⑧ Lesson 8 ⑨ Lesson 2、Lesson 9 ⑩ Lesson 9 ⑪ Lesson 3、Lesson 6 ⑫ Lesson 7 ⑬ Lesson 10
コラム類	<ul style="list-style-type: none"> ① 英語の基本的な文構造や発音などの学習を通して、日本語とは異なる特色に気づき、理解しようとする態度を養います。(第1号) ② Communication コーナーでは、実際の言語の使用場面や働きを踏まえたコミュニケーション活動を行い、実生活に生かすことができます。(第2号) 	<ul style="list-style-type: none"> ① p.15 など ② p.42 など

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

観点	留意点	具体例
①教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ① この教科書では、国際社会を生き抜く日本人を育成するために、英語力の基礎を確実に身につけ、その英語力で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことを目指しています。 ② 世界に日本のよさを発信できる生徒を育成するために、日本の伝統や文化に関する題材を取り上げています。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 全体 ② Lesson 3、Lesson 6 など
②学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ① Lesson の学習が進むに従って、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されていくように、題材や学習内容が選択・配列されています。 ② 生徒が自分の言葉として英語を使う言語活動を豊富に用意することで、情報や考えなどを理解したり適切に伝えたりする基礎的な力を養います。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 全 Lesson ② 全 Lesson
③内容・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ① 言語材料や題材内容など各面にわたって、新たな学習内容と既習事項を関連させながらゆるやかに難易度を上げているため、無理なく英語力を養成できます。 ② 各 Lesson は、写真資料などからの導入、理解、復習、言語活動の順に構成されており、効率的に学習できるように配慮されています。 ③ 取り上げる新出文構造・文法事項は「1 レッスン 1 ターゲット」とポイントが絞られており、基礎的・基本的な事項が確実におさえられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 全 Lesson ② 全 Lesson ③ 全 Lesson
④評価（CAN-DO）	<ul style="list-style-type: none"> ① 各 Lesson の第 1 ページの Lesson Goal（題材のテーマに関連した学習目標）を受けて、Activity では言語活動を通して、その Lesson における目標の到達度を確認することができます。 ② 文法事項については、各 Lesson の第 1 ページの Target の目標に対して、Exercise B の言語活動を通して、その Lesson における目標の到達度を確認することができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 全 Lesson ② 全 Lesson
⑤英語で授業を行うための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ① Lesson の導入として英語を聞いてからその内容について英問英答を行う Quick Question!、本文の内容把握を英問英答で行う Question(s)、本文全体の要約を完成させて音読する Summary など、生徒が英語でアウトプットする活動を充実させています。 ② 本文の概要把握を英語のリスニングで行う True or False?、イラストと英語の音声のみで本文の復習を行う Listening、英語を聞いて英文を完成させ、その英文を参考にしな 	<ul style="list-style-type: none"> ① 全 Lesson ② 全 Lesson

	がらペアでやりとりする Activity など、英語の音声を聞いて内容把握やペアワークを行う活動を充実させています。	
⑥中学校との関連	① 基礎的・基本的な事項を再度学習するため、Lessonの前にWarm-UpとPre-Lessonを用意しています。	① Warm-Up 1～3、 Pre-Lesson 1～2
⑦伝統・文化の取り上げ方	① 日本の伝統・文化に関する話題を取り上げ、我が国の伝統・文化への意識を高め世界に発信できるようにしています。 ② 言語を文化ととらえ、英語の基本的な文構造の学習を通して、日本語と英語の違いに気づきを与える活動を取り扱っています。	① Lesson 3、 Lesson 6 ② Pre-Lesson 1～ 2、英文のしくみ1 ～3
⑧自然科学の取り上げ方	① 英語科にふさわしい意味のある切り口で取り上げられるよう、特殊な語彙や表現による負担に配慮して、題材選定をしています。	① Lesson 8、 Lesson 9 など
⑨家庭学習・自学自習への配慮	① 辞書の使い方などが扱われています。 ② 二次元コードを使って、家庭でも本文や単語の音声を聞いたり、動画を視聴したりすることができます。	① Warm-Up 3 など ② 二次元コード
⑩文字・印刷・製本	① 活字は鮮明で美しく、写真、イラストなども鮮明です。 ② 製本は堅牢で、開きやすい様式です。 ③ ユニバーサルデザインの視点から図やグラフの色使いなど、色覚特性への配慮をしています。	① 全体 ② 全体 ③ 全体

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-180	高等学校	外国語	英語コミュニケーション I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	CI 002-901	All Aboard! English Communication I Revised		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- 英語の基礎・基本を確実に学習できる。
- 「読みたい」「考えたい」「伝えたい」という生徒の学習意欲を喚起する。

1 学習負担の少ない構成

- ・英語学習の基礎・基本の導入と学習への動機づけを図るため、本課 Lesson の前に Warm-Up 1~3 と Pre-Lesson 1~2 を配置しています。Pre-Lesson では、最初につまずきやすい be 動詞と一般動詞について復習をしながら定着を図ります。
- ・各 Lesson で学習する文法事項を 1 つに絞っています。該当の文法事項を様々な形式で繰り返し学習できるようにしています。
- ・ほとんどの Lesson において本文は見開きで完結します。また、学習の流れがひと目で理解できるようにレイアウトを工夫しており、前時の復習がしやすくなっています。
- ・各 Lesson 末の言語活動では細かいステップを設定することにより、学習目標に到達しやすい配慮をしています。

2 指導の流れが見えやすい Lesson 構成

- ・教師と生徒が学習目標を共有するために、Lesson のテーマについての言語活動に関連した学習目標、および文法事項の機能を重視した目標を扉ページに提示しています。
- ・本文の各パートに内容理解の活動を手厚く配しています。
- ・Lesson の本文に続くページを、「本文の復習 (Review)」「言語活動 (Activity)」「文法事項 (Grammar)」の 3 つのコーナーに分けて充実させることで、多様な指導スタイルに対応できる構成にしています。

3 学習意欲を喚起する題材

- ・生徒が「読みたい」「考えたい」「伝えたい」と思うような題材を用意しています。
- ・各 Lesson 末に「Activity」を配置し、本文のテーマについての言語活動ができるようになり、4 技能 (5 領域) の統合を図ることができます。

題材一覧

Lesson	タイトル	ジャンル	言語材料	語数
Pre-Lesson 1	My Name Is Ito Neko		be 動詞	39
Pre-Lesson 2	I Like Junk Food!		一般動詞	54
Lesson 1	Breakfast around the World	異文化理解	過去形	90
	世界の朝食を話題とし、その中からベルギーとベトナムの朝食を紹介しています。			
Lesson 2	Australia's Cute Quokkas	動物、 動物保護	進行形	97
	オーストラリアのロットネスト島に生息する、観光客に人気のかわいらしい野生動物、クオッカを紹介しています。			
Lesson 3	Life with Spade	人物、 将来の目標	助動詞	120
	幼少期から愛馬スペードとともにスポーツ流鏑馬に打ち込む布施蒼依さんが、愛馬との関係、そして将来の目標について語ります。			
Lesson 4	A Miracle Mirror	地理	to 不定詞	138
	「世界一の絶景」とも呼ばれるボリビアのウユニ塩原を訪れて感じたことを、メールで報告します。			
Lesson 5	A Dream Engine	高校生、 ものづくり	動名詞	141
	福岡市立博多工業高校の空気エンジンやエコデンカーの開発秘話を通じて、目標に向かって努力する生徒たちを学校新聞で紹介しています。			
Lesson 6	A Funny Picture from the Edo Period	伝統文化	受け身	147
	奇想天外な浮世絵師と言われる歌川国芳とその作品について、高校生がスピーチをします。			
Lesson 7	A Diary of Hope	人物、 平和、人権	比較表現	153
	第二次世界大戦下、ナチス・ドイツによりユダヤ人が迫害を受ける中で希望を失わずに生きたアンネ・フランクについて紹介しています。			
Lesson 8	A Door to a New Life	福祉、 科学技術	現在完了形	150
	吉藤健太朗さんが開発したロボットを利用して、重度の身体障がいをもつ人々が社会に参画する様子を紹介しています。			
Lesson 9	Ghosts in the Oceans	環境、 社会活動	名詞を後ろから説明する分詞	235
	プラスチックごみ問題の1つである「ゴーストギア」問題に関するインターネット上の3つの記事を読んで、海の豊かさを守るために自分たちができることについて考えます。			
Lesson 10	Pigs from across the Sea	国際協力、 歴史、平和	関係代名詞	231
	戦後、沖縄の人々とハワイに住む日系アメリカ人の絆を深めた出来事と、後年、この史実に感銘を受けた音楽バンド BEGIN が始めた交流活動について紹介しています。			

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				3 内容の 取扱い	該当箇所	配 当 時 数
	2 内容						
	(1)英語の 特徴やきま り	(2)情報を 整理しなが ら考えなど を形成し、 英語で表現 したり伝え 合ったりす ること	(3)言語活動及び言語の働き				
			①	②			
Warm-Up 1	ウ				(2)	pp.4-5	1
Warm-Up 2	ウ				(2)	pp.6-7	1
Warm-Up 3	ウ				(2)	pp.8-9	1
Pre-Lesson 1	ア・イ・	ア・イ・	ア	ア(ア)、	(2)	pp.10-11	2
Pre-Lesson 2	ウ・エ	ウ		イ(ウ)		pp.12-13	2
Lesson 1	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ	イ(ア)・ ウ(ア)	ア(ア)、 イ(ウ)	(1)	pp.16-17	4
Lesson 2				ア(ア)、 イ(ウ)		pp.24-31	4
Lesson 3				ア(ア)、 イ(ウ)		pp.34-41	4
Lesson 4			イ(ア)・ ウ(ア)・ エ(ア)・ オ(ア)・ カ(ア)	ア(ア)(ウ)		pp.44-53	5
Lesson 5			ア(イ)、 イ(ウ)	pp.56-65		5	
Reading 1	ア・イ・ ウ・エ	ア・ウ	イ(ア)・ ウ(ア)	イ(ア)(イ)	(1)	pp.70-72	3
Lesson 6	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ	イ(イ)・ ウ(イ)・ エ(イ)・ オ(イ)・ カ(イ)	ア(ア)、 イ(ウ)	(1)	pp.74-83	5
Lesson 7				ア(ア)、 イ(ウ)		pp.84-93	5
Lesson 8				ア(ア)、 イ(ウ)(エ)		pp.94-103	5
Lesson 9				ア (ア)(イ)、 イ(ウ)(エ)		pp.108-119	6
Lesson 10				ア(ア)、 イ(ウ)		pp.120-131	6

Reading 2	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ	イ(ア)・ ウ(ア)	イ(ア)(イ)	(1)	pp.132-137	5
Communication 1	ア・イ・ ウ	ア・イ・ ウ	イ(ア)・ オ(ア)	ア(ア)、 イ(ウ)		p.14	1
Communication 2	ア・イ・ ウ	ア・ウ	イ(ア)・ エ(ア)	ア (ア)(ウ)、 イ(ウ)(オ)		p.42	1
Communication 3	ア・イ・ ウ	ア・ウ	イ(ア)・ エ(ア)	ア (ア)(ウ)、 イ(エ)(オ)		p.104	1
Let's Listen 1	ア・イ・ ウ	ア	イ(ア)	ア(ア)、 イ(ア)(エ) (オ)		p.43	1
Let's Listen 2	ア・イ・ ウ	ア	イ(ア)	ア(ウ)、 イ(ウ)(オ)		p.66	1
英文 E メール の書き方	イ・ウ	ア・イ・ ウ	カ(ア)	ア(ウ)、 イ(イ)(ウ) (オ)		p.54	1
文法のまとめ 1	エ				(2)	pp.32-33	1
文法のまとめ 2					(2)	pp.68-69	1
文法のまとめ 3					(2)	pp.106-107	1
文法のまとめ 4					(2)	pp.140-141	1
英文のしくみ 1	エ				(2)	p.15	1
英文のしくみ 2					(2)	p.67	1
英文のしくみ 3					(2)	p.105	1
Extra Target 1	エ	ア・イ・ ウ	イ(ア)、 オ(ア)			p.55	1
Extra Target 2						p.73	1
Extra Target 3						p.138	1
<i>Big Yellow Taxi</i>						p.139	
合計 80 時間							